

まちの予算

平成29年度 主要事業

周防大島町では誰もが主役になれる町、幸せに暮らせる町づくりの実現のために、

- ①安心して子供を生み育てられる町
- ②働く意欲の湧き出る町
- ③自然と環境にやさしい町
- ④晩年を豊かで安心して過ごす町
- ⑤次世代に素敵な未来を約束する町

という5つの柱を立て、予算編成を行いました。

今月号から「まちの予算」と題して、今年度実施する主要事業について紹介していきます。

① 安心して子供を生み育てられる町

◆福祉課関係

☎0820(77)5505

児童手当事業 1億3051万3千円

中学生修了までの子どもを対象に1人あたり、3歳未満は月額1万5000円、3歳以上は月額1万円(3歳以上小学校終了までの第3子以降は、1万5000円)、所得制限以上の者は月額5000円を支給します。

地域子育て支援拠点事業

2235万9千円

子育て支援センターを民間に委託するとともにセンターを3カ所設置し、参加しやすい環境を整え、子育て不安の解消や子どもの健やかな育成を支援します。

保育所同時入所2人目以降無料化事業

902万2千円

同一世帯の就学前児童が町内の保育所に2人以上同時に入所している場合、保育料の負担は1人目のみとなります。(2人目以降は無料)

ちびっ子医療費助成事業

1781万6千円

小学校6年生までの児童の医療費を全額助成します。

中学生医療費助成事業

868万8千円

中学校生徒の医療費を全額助成します。

保育所英語講師派遣事業 168万円

幼少期から英語に慣れ親しみコミュニケーション能力を養うために、町内の全保育所を対象に英語学習を実施し、子育てを支援します。

児童クラブ英語講師派遣事業 12万円

町内の全児童クラブを対象に英語学習を実施します。

読み聞かせサポート事業 42万3千円

子どもたちが心豊かに育つことを願って、生後6カ月の乳児にファーストブック(絵本)を、保育所に絵本と紙芝居を贈呈します。

◆健康増進課関係

☎0820(73)5504

周産期医療支援事業

82万8千円

周防大島町および周辺自治体には出産のできる民間病院または医院が少ないことから、町民が安心して妊娠・出産するための環境を整備します。

特定不妊治療費助成事業 165万円

医療保険が適用されない不妊治療に必要な費用の一部について、国の制度により県が行う助成を基準に町独自に助成額を拡充します。

子育て支援任意予防接種事業

30万6千円

子どもの健康を守り保護者が安心して働ける環境を提供するため、ロタウイルス、おたふくかぜの予防接種費用の半額を助成します。

風しん予防接種事業(成人)

9万5千円

赤ちゃんを先天性風しん症候群から守るため妊娠予定者、パートナーおよび同居家族に対して抗体検査およびワクチン接種費用の一部を助成します。



▲読み聞かせサポート事業